

【表2】消毒薬の適用と使用上の注意点

分類	消毒薬	適用	特徴	注意点
高水準消毒	アルデヒド系 ・グルタラール ・フタラール	非生体消毒	・金属、ゴム、プラスチックに対して腐食性がない ・軟性内視鏡の消毒によく用いられる ・フタラールは超音波白内障手術器具および経尿毒的検査に使用する器具への使用が禁止されている	・グルタラール蒸気吸入による結膜炎、鼻炎、喘息、薬液付着による皮膚炎の副作用がある ・フタラールはグルタラールよりも粘膜刺激性が少ないが、皮膚、粘膜が接触すると変色する ・マスク、ゴーグル、手袋を着用し、換気を十分に行う
	過酢酸		・軟性内視鏡の消毒によく用いられる ・刺激臭がある ・一部の材質を腐食しやすい ・希釈液は加水分解しやすい	マスク、ゴーグル、手袋を着用し、換気を十分に行う
中水準消毒	次亜塩素酸系 次亜塩素酸ナトリウム	非生体消毒 器具：0.01%～0.02% 排泄物、血液環境汚染：0.1%～1%	・残留毒性が低い ・金属に対する腐食性が高い ・有機物による失活が大きい	・塩素ガスが発生するため酸性の洗浄剤と混合しない ・0.1%以上の濃度は、高水準消毒薬に分類される
	アルコール系 ・エタノール ・イソプロパノール ・イソプロパノール添加エタノール	生体消毒 非生体消毒 70%～90%	・揮発性がある ・速効性がある	・引火性があるため火気注意 ・粘膜や損傷皮膚への使用は刺激を生じるため使用しない
	ヨード系 ポビドンヨード	生体消毒 皮膚：7.5%～10%	・生体への刺激が少ない ・持続的な殺菌効果がある	・ハイポアルコールで脱色した場合持続的な殺菌効果は期待できない ・ヨード過敏症の人は使用禁忌
低水準消毒	クロルヘキシジン グルコン酸クロルヘキシジン	生体消毒 皮膚：0.1%～0.5% 結膜：0.05%以下	・皮膚に対する刺激が少ない ・持続的な殺菌効果がある	・結膜嚢以外の粘膜への使用は禁忌 ・微生物汚染を受けやすいため作成した消毒綿球は毎日交換する
	第四級アンモニウム塩 ・塩化ベンザルコニウム ・塩化ベンゼトニウム	生体消毒 非生体消毒 器具：0.05%～0.2% 皮膚：0.05%～0.1%	・環境の消毒に用いられる ・皮膚粘膜に対する刺激が少なく臭気がほとんどない	・微生物汚染を受けやすいため作成した消毒綿球は毎日交換する ・石けんと混合すると沈殿物を生じて殺菌力が低下する
	両性界面活性剤 塩酸アルキルジアミノエチルグリシン	非生体消毒 器具：0.05%～0.2%	・脱脂作用が強い ・0.2～0.5%で結核菌などの抗酸菌に殺菌効果あり	石けんと混合すると沈殿物を生じて殺菌力が低下する